



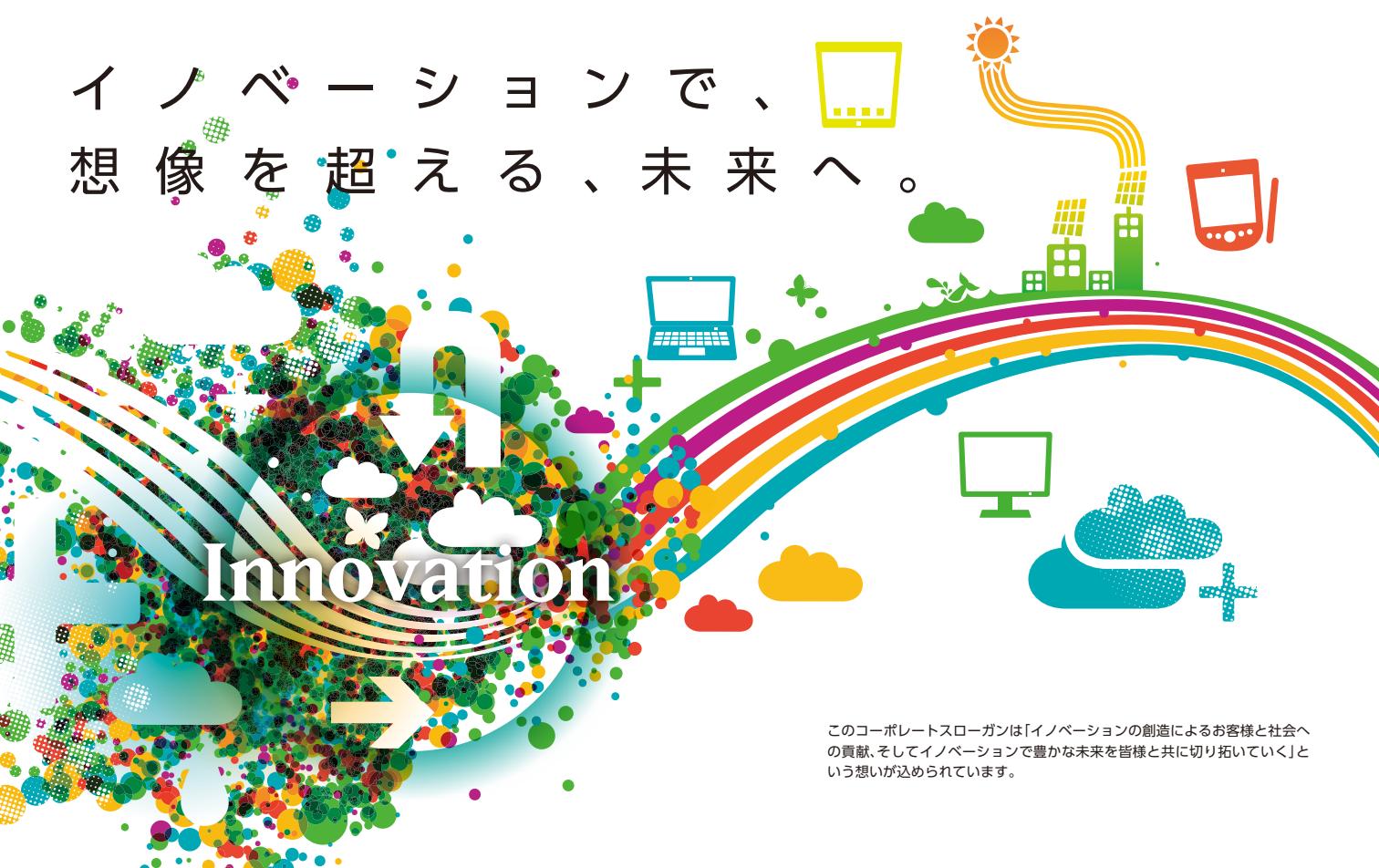
BUSINESS REPORT

第**16**期 中間株主通信

2012年4月1日 ▶ 2012年9月30日



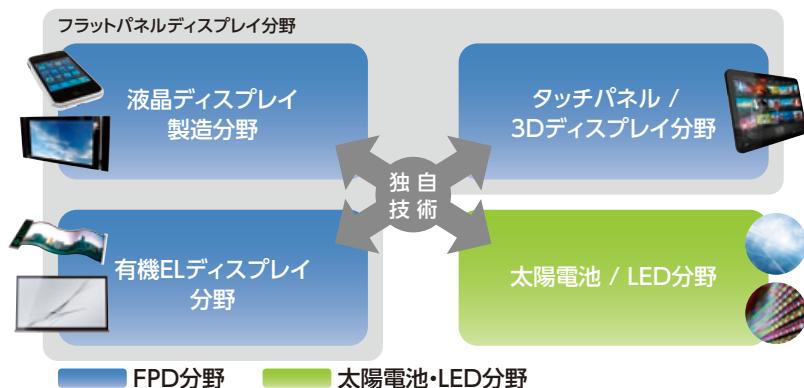
イノベーションで、
想像を超える、未来へ。



このコーポレートスローガンは「イノベーションの創造によるお客様と社会への貢献、そしてイノベーションで豊かな未来を皆様と共に切り拓いていく」という想いが込められています。

当社は、フラットパネルディスプレイの生産を支える装置メーカーです

当社は、液晶ディスプレイ (LCD) に代表される、フラットパネルディスプレイ (FPD) 産業に関わる製造装置及び検査装置の開発、製造及び販売、サービスを主要な事業と位置付けております。この主要事業とシナジー効果が期待でき、当社独自技術の展開が見込める、LCD応用分野 (3D-TVやタッチパネル)、太陽電池/LED分野、有機ELディスプレイ分野のお客様ニーズにお応えする製品、サービスの開発・販売にも積極的に取り組んでおります。



事業拡大と新規事業開拓でさらなる飛躍を

トップメッセージ

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社は、本年10月16日に設立15周年を迎えることができました。これも株主の皆様からの絶大なご支援の賜物と、厚く御礼申し上げます。

この15年、FPD(フラットパネルディスプレイ)業界の発展と共に当社は成長してまいりました。しかし、FPD業界は今までのような高成長を続けるのは難しく、当社は新しい分野に挑戦する時期にきています。この節目を「第二の創業」に向けた挑戦の開始と捉え、FPD関連ビジネスに加え、設備メーカーの枠にとらわれない新事業創出に向けた活動を強力に推進してまいります。そして、これまで培った要素技術、プロセス開発のノウハウ、知財、お客様やパートナー企業と築き上げたネットワーク等を活かした新事業の創出に尽力してまいります。

さて、皆様もご存じの通り、足下の世界経済は、米国の景気回復鈍化、欧州の財政金融危機、中国の景気減速等により、先行き不透明な状況で推移いたしました。当社が関連するFPD市場では、スマートフォン・タブレット端末向けの中小型液晶パネルは比較的堅調に推移したものの、大型液晶パネルはテレビ市場低迷による設備投資の延伸の影響により低調に推移いたしました。

このような環境の下、当社は、大型液晶パネル生産から中小型高精細FPDへ生産をシフトさせていくお客様を中心に受注活動を推進し

てまいりました。

売上高は17億4千1百万円(前年同期売上高105億4千8百万円)、経常損失は6億6千4百万円(前年同期経常利益9億5千9百万円)、純損失は4億9千5百万円(前年同期純利益6億9百万円)となりました。当第1四半期は、前期に受注した案件を順調に消化し計画通りに進展したものの、当第2四半期は、大型液晶パネル市場低迷の影響による設備メンテナンス費用抑制等の結果、メンテナンス関連の売上が期初予想程伸びなかった為です。配当は安定配当方針の下、据え置きとさせていただきます。

16期は、引き続きFPD業界にとって厳しい時期が続くと予想されます。この状況に屈することなく、社員一同、「大いなる志と溢れる情熱」を以て事業活動を加速させ、「世界最高のイノベーション」を製品・技術・サービスの形で皆様にお届けする所存です。

今後も引き続き当社にご期待下さいますようお願い申し上げます。ご挨拶と代えさせていただきます。



代表取締役社長
杉本 重人

トピックス

当社Webサイトに、スマートフォン用高精細ディスプレイ生産に欠かせない当社の製品や、高精細ディスプレイ用低温ポリシリコンTFT生産プロセスについて動画でご紹介するコンテンツをご用意しました。是非ご覧ください。

URL http://www.vtec.co.jp/ir/process_tft.html



売上高 (百万円)



経常利益/純利益 (百万円)



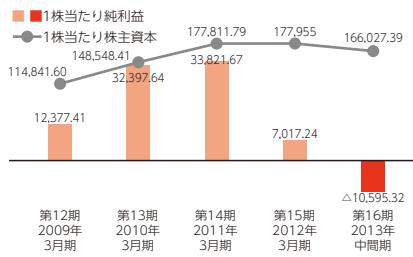
経常利益率 (%)



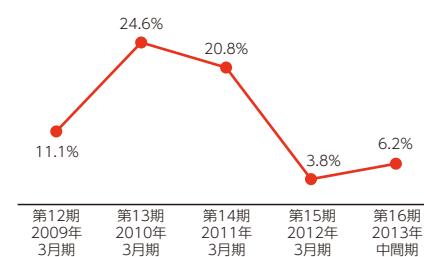
総資本回転率 (回)



1株当たり純利益/1株当たり株主資本 (円)



ROE (%)



● 2013年3月期 (第16期) の業績予想

2013年3月期通期連結業績予想数値の修正 (2012年4月1日~2013年3月31日)

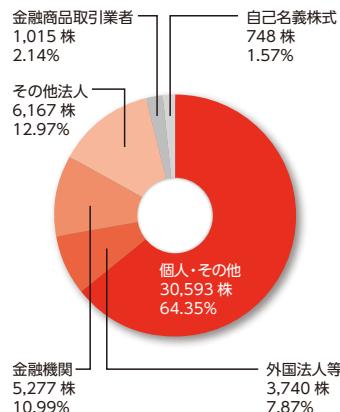
	売上高 百万円	営業 利益 百万円	経常 利益 百万円	当期 純利益 百万円	1株当たり 当期純利益 円 銭
前回発表予想(A) (2012年8月3日発表)	10,400	260	230	70	1,495.98
今回修正 予想(B)	7,000	▲600	▲630	▲470	▲10,044.45
増減額 (B-A)	▲3,400	▲860	▲860	▲540	-
増減率 (%)	▲32.7	-	-	-	-
(ご参考) 前期実績	13,682	533	597	328	7,017.24

通期予想につきましては、液晶パネルメーカーの第2四半期以降の業績回復に伴って、延伸されていた設備投資が再開されることを見込んだものであります。しかし、液晶パネルメーカーの設備投資の削減及びさらなる延伸が進んだため、2012年8月3日時点において今期売上計上見込みであった装置販売案件の一部につき今期の売上計上ができない見込みとなりました。売上高の減少及び売価ダウンに伴う利益の減少を最小限に留めるべく、コストダウン活動を引き続き行う所存ではあります。売上高減少の影響を吸収できず、通期利益はマイナスとなる見込みです。

株式の状況 (2012年9月30日現在)

Stock Information

- 発行可能株式総数 175,903株
- 発行済株式総数 47,540株
- 株主数 7,179名
- 株式所有者別分布



大株主 (上位10名)

株主名	株数	持株比率 (%)
杉本重人	5,613株	11.80%
新菱冷熱工業株式会社	4,901株	10.30%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,198株	2.51%
ザ バンク オブ ニューヨーク メロン アズ エージェント ビーエヌワイエム エイエス ダッチ ペンション オムニバス 140016	1,070株	2.25%
資産管理サービス信託銀行株式会社(年金特金口)	818株	1.72%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	694株	1.45%
ドイチェ バンク アーケー ロンドン ビービー ノントリティー クライアנטツ 613	650株	1.36%
資産管理サービス信託銀行株式会社(証券投信信託口)	369株	0.77%
阿部倉 智	318株	0.66%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口6)	311株	0.65%

当社は自己株式748株を保有しておりますが、上記から除いております。

株主メモ

- 事業年度 4月1日～翌年3月31日
- 定時株主総会 毎年6月に開催
- 配当金受領株主確定日
 - ・ 期末配当金 3月31日
 - ・ 中間配当金 9月30日
- 株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
- 特別口座の口座管理機関
 - ・ 同 連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
〒137-8081 東京都江東区東砂7丁目10番11号
TEL：0120-232-711（通話料無料）
 - ・ 同 取次所 三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店
- 上場証券取引所 東京証券取引所（証券コード 7717）
- 公告の方法 電子公告とします。但しやむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は日本経済新聞に掲載します。公告掲載の当社ホームページアドレス
<http://www.vtec.co.jp>

（ご注意）

- 1.株券電子化に伴い、株主様の住所変更その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 2.特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 3.未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

UD FONT



会社の概要（2012年9月30日現在） Company Profile



社 名：株式会社ブイ・テクノロジー
設 立：1997年10月16日
本 社 所 在 地：横浜市保土ヶ谷区神戸町134 YBPイーストタワー9F
TEL：045-338-1980 FAX：045-338-1781

役員

代表取締役社長	杉本重人
専務取締役	梶山康一
常務取締役	藤井邦夫
取締役	和田正

取締役	勝原隆
常勤監査役	大倉修和
監査役	吾田啓一郎
監査役	住田勲勇

海外拠点

